



# 石神井南中学校 学校だより

令和 元年度 第 5 号  
発行日 9月30日(月)  
練馬区立石神井南中学校  
校長 田 邊 克 宣

## 「大きな実りを前に」

校長 田邊 克宣

2学期が始まり早ひと月が経ち、生徒たちも学校の生活リズムを取り戻したようです。この間にも、世の中では様々な事柄が生起しました。大型の台風による甚大な被害、環境問題に対する世界的な取組、オリンピック・パラリンピックを控えたスポーツ界の動向等々、どれ一つをとっても目の離せないことばかりです。そうした中、石南中生たちは、広く世界に目を向け、その中でどう生きていくかを真剣に考え、日々を送っています。

夏休み前に生徒会役員が呼びかけた「CAP50プロジェクト」の活動は、2学期も引き続き継続して行っております。給食のストローに関しては、給食委員会が中心となって対応策を講じ始めました。先頃行われた「ボッチャ体験教室」では、学年ごとに充実した時間を過ごしました。連合陸上競技大会では、選手も、運営スタッフも、共にそれぞれの役割を見事に果たし、個人としての達成感とともに、大会の成功に大きく寄与しました。現在、全校生徒が10月の文化発表会に向けて着々と準備を進める姿に、4月からの生徒たちの成長ぶりがうかがえます。

さて、後掲のとおり、各学力調査結果をお知らせいたします。教科による差もありますが、いずれも区・都・全国の平均を上回っております。結果を基に策定した「授業改善推進プラン」を学校HPに掲載してありますので、ご覧おきください。

教科の結果とともにご覧いただきたいのが、意識調査の結果です。「いじめは、どんな理由があってもいけない」の割合が高いことが心強い限りです。一方で、「人が困っているとき、進んで助けている」の割合が若干低い点が気になります。そういう機会がないからとも考えられますが、ぜひとも実践して行ってほしいと思います。また、「家で自分で計画を立ててする勉強をまったくしていない」の割合が低いことは、家庭での学習を継続的・習慣的に行っている証でしょう。このことが、本校の学力調査の結果に如実に表れているのだと考えられます。引き続き主体的に取り組んでいくことを大いに期待いたします。

学力と、豊かな心のバランスこそ、この中学校時代に成し遂げてもらいたい成長です。石南中生の大きな実りのために、今後共ご理解とご協力をお願い申し上げます。



連合陸上大会の詳細は次号でお知らせします。

[ 東京都 『 生徒の学力向上を図るための調査 』 ]  
(第2学年)

	A 教科の内容	
	本校	東京都
国語	<b>78.0</b>	71.7
社会	<b>57.9</b>	50.9
数学	<b>61.0</b>	52.9
理科	<b>49.6</b>	49.3
英語	<b>64.6</b>	55.9

[ 『 学力調査 』 ]  
(第3学年)

	基礎			活用			全体		
	本校	練馬区	全国	本校	練馬区	全国	本校	練馬区	全国
社会	<b>66.0</b>	58.5	60.0	<b>53.4</b>	45.9	44.6	<b>62.9</b>	55.5	56.3
理科	<b>62.6</b>	55.8	59.3	<b>53.2</b>	46.0	47.6	<b>59.9</b>	52.9	55.0

[ 全国 『 学力・学習状況調査 』 ]  
(第3学年)

	本校	東京都	全国
国語	<b>83</b>	74	72.8
数学	<b>72</b>	62	59.8
英語	<b>68</b>	59.0	56.0

※「よくあてはまる」を選んだ割合

	本校	東京都	全国
人の役に立つ人間になりたい	<b>64.5</b>	66.5	71.1
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある	<b>11.8</b>	11.6	11.5
地域の行事に参加している	<b>9.1</b>	13.8	21.0
学校の規則を守っている	<b>76.4</b>	66.0	66.8
人が困っているとき、進んで助けている	<b>27.3</b>	33.2	34.6
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	<b>79.1</b>	74.9	78.3
家で自分で計画を立ててする勉強をまったくしていない	<b>7.3</b>	13.0	12.2

## 学年の団結力を高めた行事、臨海学校

1 学年 高石 愛実

お盆直前だったり、台風が発生したり、出発まで不安が多くありました。しかし、当日は欠席者が出ることなく参加者 95 名全員で下田に向かうことができました。到着してからは、青くてきれいな海にワクワクしました。隊列を組んで海に入ることは初めてだったので、緊張した面持ちの生徒も多くいました。また、台風の影響もあり、時には 2m 近い波が打ち寄せることもありましたが、生徒は指示に従い落ち着いて泳ぐことができていました。日ごろから人の話を目を見てしっかり聞き、心の込もったあいさつをする 1 年生です。そういった日々の行いがこういった宿泊行事でも表れ、「1 人では泳げなかった、仲間がいたから泳げた」という達成感だけでなく、確かな団結力も得ることができたと思います。全員が完泳できたことを喜び合える優しい心を大切に、普段の生活に戻って次の文化発表会でさらに高めていってけると信じています。



### 【緊急連絡メールについて】

先日の台風時、緊急連絡メールが一部届かなかったご家庭がありました。9/27(金)にセーフティ教室の連絡が配信されます。もし届かなかったご家庭がありましたら、申し訳ありませんが再度登録をお願いします。



## ボッチャ体験学習 ～オリンピック・パラリンピック教育より～

副校長 武藤 祥史

9月14日(土)の公開授業で学年ごとにパラリンピック種目のボッチャについて体験学習を行いました。ボッチャは前回のリオデジャネイロパラリンピックで銀メダルを獲得し、注目された競技です。今回は元日本代表の奈良淳平さんと東京都障害者スポーツ協会から講師の方をお招きして、奈良さんのボッチャとの出会いやボッチャの面白さについてのお話や協会の皆さんからは競技の進め方や内容をお話していただき、実際にボッチャを体験させていただきました。やってみるととても面白く、障害者、健常者の枠を超えて楽しめる競技であることがわかりました。生徒たちも次第に熱が入り、一投に一喜一憂していました。参観に来られていた保護者の皆さんも参加され、一緒に楽しむことができました。来年のオリンピック・パラリンピックに向けてボッチャ競技のすそ野が広がってほしいなと思いました。

